

学校教育目標

なかよく
かしこく
元気よく



きずな
あさば野の絆

～ 坂戸市立浅羽野小学校 ～



令和7年4月8日発行 第1号 児童数 444名 校長 大澤 裕美

ご入学・ご進級おめでとうございます

満開の桜、暖かな風と色とりどりの花々にやさしく包まれて新年度がスタートしました。今年度は、新入生70名を迎え、18学級全校児童444名でスタートです。登校する子供たちを見ると、新しい出会いにわくわくしている子、少し緊張している子、「〇年生で、こんなことを頑張りたい！」と張り切っている子…など様々ですが、どの子供たちも希望に満ち、ひとまわり大きくなったように感じました。

目指す学校像「笑顔にあふれ、生きる力を育む学校」を目指し、今日4月8日の出会いを大切に、一人一人に寄り添い、子供たちが毎日笑顔で過ごせるよう教職員一同、全力で取り組んでまいります。保護者・地域の皆様におかれましては、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

学校は「宝箱」～宝物を見つけよう！～

子供にとっての「学校」はたくさんの経験をしながら成長していく場所です。初めて見ることや聞くこと、知ることが多くあり、発見の連続だと思います。その時の感動を学校では宝物にしていきたくと考えています。驚きが喜びに変わったり、できなかったことができるようになったりするとき、子供たちの瞳はきらきらとし、笑顔にあふれています。この子供たちの輝きを見ていると、本当に学校は「宝箱」だと感じます。

学校では、子供一人一人を大切に「ほめて 認めて 伸ばす」指導をしていきます。大切にされた子供たちは自分のことも友達のこと大切にするようになります。さらに自信を持ち、今まで経験したことのない問題にぶつかったときに、粘り強く、友達と協働しながら解決することができるようになります。この力は私たちが経験したことのない予測不可能な社会を生き抜いていくために、必要不可欠な力です。

今年度も、浅羽野小学校は「笑顔にあふれ、生きる力を育む学校」を目指します。そして、特に「浅羽野らしさ」と「つながり」を大切にしていきます。

※学校のランドデザインは学校運営協議会后、お知らせします。

名前が大澤やすみ
なので、
「ひとやすみ」
と

～☆ちょっと ひとやすみ☆～

昨年度に引き続き、学校での子供たちの「なるほど。」「なぜ?」「さすが!」など心に響くエピソードをお伝えします。

準備登校で力を発揮してくれた6年生の児童が今年度着任した先生方をみて、こんなことを言っていました。「眼鏡をかけていて、〇〇先生に似ている先生がたくさんいる。」〇〇先生のことが大好きなその児童はとても嬉しそうでした。4人ぐらい似た先生がいるそうですよ。出会ったばかりのことは、確かに似て見えますね。

来校した際、ぜひ、似ている先生を探してみてください。